



小中自主参加講座

「発達や愛着に課題のある子ども達から学んだこと」

8/1(金)に、馬天小学校の瀬底正栄校長を講師にお招きし、自主参加講座を開催しました。瀬底校長ご自身の豊富な実体験や具体的な事例を、スライドや動画を交えて分かりやすくご説明くださいました。『行動より感情の支援』『行動に隠れているサインを見逃さない』という言葉がとてもインパクトがありました。多岐にわたるお話は参加者の心を強く引きつけ、多くの好評の声をいただきました。参加いただいた先生方ありがとうございました。



〈本講座参加者の感想より〉

- アタッチメントとは教育の大前提、土台なんだと痛感しました。小さな体にどれほどのものを抱えているのか、どんな感情から引き起こされている行動なのか、私たちが知ろうとすること、寄り添うことが大切だなと感じました。
- 支援者(保護者・教師等)は子どもの充電器(安心・安全・探索基地)になり、子どもがポジティブな感情を増やせる存在だという内容がとても印象に残りました。
- お話の中で「感情が見えてくると守備範囲が広がる」というところに納得しました。普段から行動に目がいてしまうところがあり、打っても響かないのは、着目するところが違うのだと思いました。最後の「正論より共感」も持ち帰ります。

令和7年度島尻教育研究所 教育講演会

8/18(月)国立教育政策研究所の藤原文雄氏を講師にお迎えし、ご講話をいただきました。「Education First Technology Second 私達は教育のプロであり、ICTのプロである必要はない」「それぞれの得意を活かした学校経営・学級経営で、一人のリーダーではなく、誰もがリーダーシップを発揮する学校」等、多くの示唆をいただきました。



前期研究報告会のお知らせ

これまで、多くの先生方にサポートしていただき、研究を進めてまいりました。ぜひ、報告会に参加していただき、研究員への激励、アドバイスをいただけると幸いです。オンラインでも実施いたしますので、申し込みお待ちしております。



本検証授業の様子

研究員	研究テーマ
長嶺小学校 金城 一樹	児童主体による個別最適な学びの実現 ～ICT活用を通した算数科の授業デザイン～
新城小学校 屋比久 咲	自分軸を育み、他者とよりよく生きようとする児童の育成 ～道徳科における対話を通して～

9月の主な予定

1	月	教育相談(しののめ)(～3日)
3	水	報告会リハーサル 沖縄教育支援センター担当者連絡会
8	月	教育委員会訪問(長期研究員)
9	火	島尻教育研究所運営委員会
11	木	修了式リハーサル スタッフ会議(しののめ)
12	金	前期研究報告会・修了式 地区合同体育(しののめ)
16	火	所長講話Ⅱ
24	水	所外研修(キンザー小学校見学) 後期研究員入所前研修会
25	木	スタッフ会議(しののめ)
30	火	前期研究員退所セレモニー 前期研究員退所

幼児教育短期研修(指導ステージ)



8/27(水)は「園のよいところをみつけてみんなで育む、みんなで紡ぐ笑顔とつながり～保護者や園職員と連携した取り組み～」をテーマに、沖縄女子短期大学の廣瀬真喜子先生を講師にお招きし、やえせ北保育園園長の川武啓介先生に事例発表をしていただきました。参加された先生方も情報交換や共に悩みを共有し、より良い園運営について学びを深めていました。先生方の熱い思いが伝わるととても充実した研修となりました。

〈事後アンケートより〉

廣瀬先生のご講話や討議の柱から所長としてどうあるべきかを改めて振り返り、課題も見え、自園の良さもたくさん見出すこともできてよかったです。



9/12(金)に前期研究員の研究報告会を実施します。